

# 区分：人文・社会科学

授業科目名	社会と歴史（現代社会と洗脳）					学期	曜日	校時
英語名	Society and History ( Society and Brainwashing )							
担当 教官名	安部俊二	単位数	2単位	必修 選択	選 択	後期	水曜日	校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>「洗脳」は、オウム真理教事件などで話題になったが、それを「密室的状況を利用しての思考転換」として理解すれば現代社会における多くの政治社会現象は「洗脳」的性格をおびたものとして把握できる。ここでは、ドキュメンタリー映像をテキストに現代社会における「洗脳」の問題を考えたい。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
浜田寿美男『自白の心理学』（岩波新書） 菊田幸一『日本の刑務所』（岩波新書） 秋田賢三『裁判官はなぜ誤るのか』（岩波新書）小林道雄『（免罪）のつくり方』（講談社文庫）								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法				教 官 研 究 室			
全 学 部	定期試験、課題レポート、出席状況を考慮して行う。							
授 業 計 画								
テーマ：現代社会と洗脳 - 事例研究 -								
0、洗脳の基礎理論 1、アメリカ海兵隊の新兵教育 2、ギリシア憲兵教育 3、旧ソ連特殊精神病院（SPH） 4、中国「労改」 5、北朝鮮「政治犯」収容所 6、チリ、ピノチェト軍事政権下の拷問 7、自己改造セミナー 8、ヤマギシ会 - カルトの子たち 9、犯罪と人権 （1）犯罪被害・性暴力被害・少年犯罪被害 （2）冤罪被害 - 「みどり荘」事件（1981年）の場合 （3）報道被害								